

東村山市民テニスクラブ協会発行紙

コート	トリ	当番	担当	クラブ
8月	9	勝の	コート	東住A
9月	10	勝の	コート	美住A
10月	11	勝の	コート	本町A

発行責任者 柳 利夫
 住所 東村山市民山町
 5-6-26-301
 Tel. 0423-95-9849
 編集責任者 川村英明

第21回

秋季市民硬式テニス大会

日程決まる

月	日	曜日	種目
9月	11日	(日)	男子 シングルス
9月	15日	(木)	女子 壮年 シングルス
9月	18日	(日)	男子 ダブルス
9月	23日	(金)	女子 壮年 ダブルス
9月	25日	(日)	男女 シングルス, ダブルスの 決勝大会 (注1)

※ 予備日 10月2日(日) テニス
 10月9日(日) テニス

秋季市民大会が上記の通り開催されます。今回、申込方法が次のように変更になりますのをお間違えのないようにして下さい。

いままでは技術部員がスミ川コートで申込を受け付けておりましたが、今回からは参加希望者自らあるいは、何人かの分をまとめて、所定の場所に参加費を添えて申込をしていただくという事になりました。

参加費

(1) シングルス 800円/人

(2) ダブルス 1,000円/組

申込場所

スポーツセンター内 クラブ室

受付日及び時間

8月14日(日) } 両日共 AM 10:00 ~ 12:00
 8月21日(日) }

注-1にっころ

これまで、男女シングルス及びダブルスにおいて、(A)、(B)2つのランク別大会を行ってまいりましたが、今回は、男女共各々(A)、(B)の区別をなくしたトーナメントを行い、男子はベスト16、女子はベスト8に各々勝ち残った者を従来の(A)リーグのトーナメントを行います。

また、男子は、ベスト16決め、女子は、ベスト8決め、敗れた者を従来の(B)リーグのトーナメント戦を行います。

したがって、決勝大会は“(A)(B)両リーグに別れたあとの大会”という事になります。

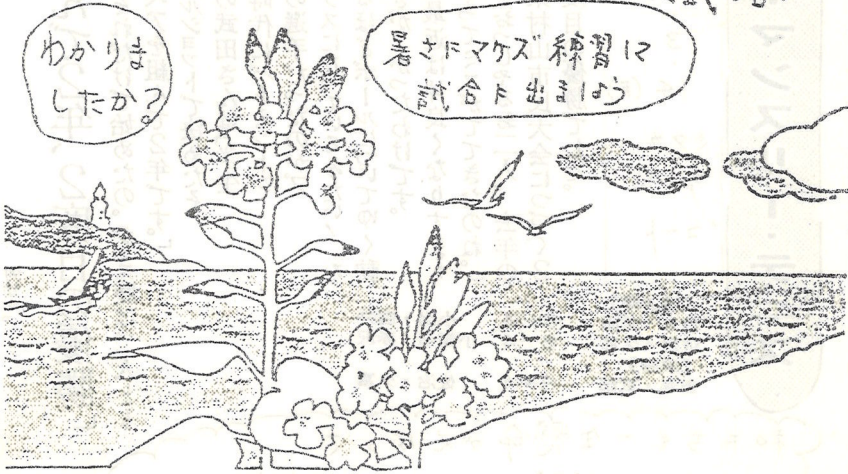
但し、エントリー数が少ない場合等は、男女シングルス及びダブルスの初日の日に(A)、(B)共、できるところまで試合を消化します。

従って、たとえば9月25日には、女子シングルの(A)は、準決勝から同(B)は、決勝だけという事もあり得ます。

その他

壮年とは、今年中に満45才以上の男子の方をいい、一般と壮年にまたがってのエントリーは、できません。

ドローを組むにあたって、1回戦、2回戦で大きく力量の差のある者の対戦はさけるように配慮しますので、初級の方でも驚かす参加するようにして下さい。技術部 4武谷



“私とテニス” 美住クラブ 山口 修史

学生時代は勉強一筋(?)というわけでもないのに、貪しかったこともあった。(何にでも好奇心だけは人一倍強か、たにかかわるか)何にも出来ずじまいだった。

その反動が会社に入ると、自分で稼いだ金を自由に使える身になった、いきに見われた。



バスケットボール、スキー、ゴルフ、登山、麻雀……と、さそわれるままに手を出した。テニスもその一つで、ラケットを初めて手にしてから、かれこれ10年になる。しかし、一度にあれもこれもやろうというのだから、どれをとっても中途半端。それも年をとって始めたものばかりなので、上達もしれている。テニス歴も10年とはいえず、ラケットを持たぬ数える程だった。こんなとき、「市民テニスクラブ」との出会いがあった。

本格的な練習が出来ると、何か一つでも特技を身に付ける絶好のチャンスだと思った。「ヨシ! テニスに徹底的に打ち込み、せめてテニスだけでもエキスパートといわれるようになるうう!!」最初の意気込みは良かった。だが、入会当初は知らない人ばかり。試合をやさずとも、自分が



足を引っ張り、負けばかりやめようと思ったこともしばしばあった。ちょっとでも嫌なことがあるとすぐに投げ出してしまいがちな自分だが、テニスだけは未練が残った。

「せめて1年はしくぼうしてみよう!」— 何度、こう自分に言い聞かせたか知れない。

その甲斐があったか、入会して1年半が過ぎようとしているが、今ではボールを追いかける時が何よりも楽しい。

駅のホームで、会社の廊下を歩いていて、ついサーブやボレーの仕草が出てしまう。テニスは、『何とも不思議な奥行きのあるスポーツか』とも思う。

上達どころかへたになっっているのではないかとさえ思えてくることもある。やっと壁を乗り越えたかな、と思うのとつかの間、とうとう壁にぶち当たっている。道具をかえれば何とかかなるか、新しいラケットを買って試してみたりもするが、ナカナカ先が見えない。だからこそ、こんなグウタラな自分でもテニスへのめり込ませるのかと知れない。



「うまい人とどんどん試合をやってみたり」と思う一方で、もう一人の自分が「ヨセッ、迷惑をかけるだけだ」と横から顔を出す。

はやくサーブ and ボレーをマスターして、グラウンド・スマッシュを打てるようになりたい。こんな『迷える小ヒソジ』に、とうか皆さんのあたたかい愛の手を……。



第36回

爽やかペアの優勝インタビュー

1983.3.27

新聞掲載ス。

試合日

1983.3.14(日) 田カアミコート

【準決勝】吉永・武田 8-4 佐治・久富
【決勝】吉永・武田 8-4 佐治・久富



吉永基子(東村山市) 武田栄美子(東村山市)

「感激!! ペアを組んで2年、2度目の優勝」
「主人とテニスやりたくて、それだけで始めたの。テニス歴は二人とも3年ぐらいで、武田さんとはペアを組んで2年です。決勝戦の最後をみごとシングルショットで決めたよ」

の武田さんは「学生時代にバトミントンの選手だったのがプラスになつていて、みるほどボールに力が入る感じがよかつたわけです。最近では仲良くなりすぎちゃつてミスがでてきたのね。」とおっしゃるお二人。去年の東村山市民大会につづく2度目の優勝でした。

風の中、ベスト4に勝ち進む。準決勝— なにせ佐治組はタカアツコ(1)の声。吉永基子・武田 ファミリコートでのメンバー抽出。米寿子(東村山市)組と小出まゆみ(場ではどんどんど毎回参加しながら、市田谷区)白井紀代子(調布)ベスト4に届かなかった。最優秀選手組の準決勝は力強いサーブと場者。いわば地元、ギョウリッシュと決まる。ボレーで吉永組が1の拍手と声援の中、落ちていく。武田組(久富基子)佐治組(佐治)を破って決勝へ。決勝戦は吉永組がサーブをエー小島道子(赤坂区)江東区)組の

編集後記。うとうとし梅雨もあけ、今度は夏夏の太陽のどきどき、やっぱりテニスをやりますネ。
我、「市民テ」の場合は、涼さを求め、早朝やナイターでテニスを楽しむことが出来ますが、暑い日中のテニスは、体調に注意して行いましょう。



みなさん、夏の楽しみ、出陣を、練習部にお寄せ下さい。

私たちの一生懸命がんばって、二人が経験した人も人ですネー